お茶の時間

穀雨。4月下旬 この頃に降る雨は百穀を潤す、という。水の都と田園都市の新潟市も、中心部から車を少し走らせると、広がる田んぼで代掻きが始まり、田植えの準備に余念がない。

旧市街を悠々と流れる信濃川の土手沿いは、今、桜に チューリップ、雪柳が咲き誇り、重厚な萬代橋と近代的な柳都大橋に目をやれば、すぐ向こうには日本海が広がる。

3月11日、東日本を襲った大地震と大津波、そして原発事故。楽しいはずの春は静かに頭上を通り過ぎた。青く美しく輝く地球の中の、小さな国 日本の動向を、世界各国が見つめている。弱音は吐けない。

言葉は 心

このくにの放射線は
何の害もないって言ってた
あの人たちは困んねんだ
放射線がないところに
住んでんだから…
誰を信じていいのか
分からねんだよ

全村民の避難が求められることになった、福島県飯舘村の農家のご夫婦の言葉だ。東京電力福島第一原発事故は、安全を信じ、村の活力になる、と信じて受け入れた人々の暮らしを一変させた。新潟県も、柏崎市と刈羽村に世界最大級の、東京電力の原発を抱える。福島県で起きた被害を おもうと、他人事ではいられない。

＝新潟日報　社会面から 抜粋＝

爪切り

衛生用品に欠かせないものの一つ、爪切り。

かつて小刀や鋏を使って切っていた爪も、今ではクリップ型、ニッパー、赤ちゃん用爪切り鋏、堅い爪、やわらかい爪、老爪用、犬猫用爪切りなど、用途に応じて多種揃う。

日本で、多くの人たちに当然の如く愛用されている、切った爪の飛び散り防止機能付きクリップ型爪切りは外国では みかけないらしく、海外からの旅行者が土産に買っていくという。

日本人の繊細な知恵が、日常の小さなものに生かされていることを とても誇りに思う。

一九〇八年(明治41年)、ポケットナイフ製造所としてスタートした、岐阜県関市の刃物メーカー「貝印」米国籍ニュースウィークに「世界が注目する日本の中小企業100」に選ばれている。

ここの製品の爪切りは 切味抜群でなめらか。デザインも好ましい。

爪は健康のバロメーター。身嗜みを整える時 指先のチェックも心がけ 心身共に健やかに過ごそう。

たかだか爪切り、と言うなかれ。

愛用の「KAI」爪切り。ストッパーケース付き。
(ストッパーケースにヤスリが付いている)

歯のよもやま話　第六話

歯の手入れ

昔から人間は歯の手入れを行ってきました。一つには健康増進のためでしょうが、エチケットや身を律するためだったと考えられます。

インドの古い医学書アーユールベーダー(四千年前)に歯木(しぼく)で歯を磨く記録があります。歯木とは歯の手入れをする木の棒のことでインドではニームの木を使いますが、中国から日本に渡る間に楊(やなぎ)そして黒文字(くろもじ)を使う様になりました。仏教では、歯の手入れ法をお釈迦様が具体的に説明、指導したといわれています。西域の敦煌(とんこう)の壁画に、楊枝を使っている図がたくさんあることを東京の歯科医師丸山茂先生が最近発見されました。十三世紀に宋にわたり帰朝後曹洞宗の永平寺を開いた道元(どうげん)禅師は「当時の中国僧はみな口臭甚だしく、上級の僧侶も口をすすぎ舌をこき楊枝を噛む法を知らない。このままでは釈尊の教えが衰退してしまうであろう。」と嘆き、その著書正法眼蔵(しょうぼうげんぞう)中で口腔清掃について説いています。マホメットも口腔清掃を推奨していますが、キリスト教の聖書にその様な記述があるかは寡聞にして知りません。

エジプトには、紀元前五世紀頃、口の清掃をする専門家がいたといわれています。現在の歯科衛生士の開祖といってもいいでしょう。

ヨーロッパでは貴人は銀製の楊枝を使っていたようですが、中世の頃の口腔清掃についてはよくわかりません。

日本には二十九代欽明(きんめい)天皇の御代に仏教とともに楊枝が伝来したとされています。平安時代の和歌に楊枝が詠まれているものがあります。このころからお歯黒の風習が盛んになり、きれいに染めるための口腔清掃道具も発展したようです。

江戸時代、江戸っ子は歯がきれいなのが自慢で、楊枝も歯磨き粉も発達し庶民に普及しました。房楊枝(ふさようじ)は長さ二十センチくらいで一端を尖らせ、他端をたたいてブラシ状にし、歯を磨き、真ん中で舌をこいだようです。

房楊枝　国貞

房楊枝

浅草の観音の付近には二百件ほどの楊枝屋があったといい、なかには「柳屋お藤」などという超看板娘もいて、娘見たさに門前市を成し、浮世絵に描かれたりしたそうです。歯磨き粉は赤穂(あこう)の焼塩が一級品、さらに白く磨くために房州の白砂(白亜・炭酸カルシウム)がもてはやされ、粋な若者が売り歩いたり、盛り場で居合抜きやコマ廻しをしながら売ったそうです。寅さんの世界ですね。

子田晃一

居合抜き　長井兵助

発行　のりちゃんち編集室
編集　子田　則子
950-2072　新潟市西区松美台4－66　子田歯科医院　2階
Faxのみ　025-378-8582

いつでもお出かけ日和

山へ行こう。そうだ山へ行こう！

車に頼ってばかりの暮らし。休日を有効に過ごさねば。
楽しい体力トレーニングと称し、用事を足しながらひたすら歩いた成果が上がり、足腰の疲れも減少。この調子ならと近くの角田山に登った。

地元民に親しまれるこの山は、主な登山口が7か所あり、花の道も豊富で広い駐車場も整備されているので関東方面から早春咲く雪割草や、カタクリの群生目指し登山客が押し寄せるそうだ。

様々な花をみつけては喜び、途中の景色を眺めては立ち止まり、のんびりペースの私を気遣いながら、夫も写真をさかんに撮っていた。

山の空気が日々のモヤモヤ気分を消してくれ元気百倍。勢い付いて次の休日、その隣りの弥彦山に登った。　4月初旬の快晴の日、マンサクの黄がまぶしく青空に映える。7合目辺りから雪道に。行き交う人たちが、こんなに雪が多いのは珍しいと話していた。

中旬再度角田山へ。カタクリは斜面一面満開に広がり、雪割草はもちろん、キクザキ一輪草、ネコノメソウ、ショウジョウバカマ、イカリ草、エンレイ草が咲き、コシノカンアオイも満開でギフ蝶が舞っていた。コシノカンアオイはギフ蝶の幼虫の食草だ。

エンレイ草

角田山の登山口の一つ、五ヶ峠から登ると、ゆるやかな山道が続く。

息子たちが幼い頃は稲島（とうじま）コースを登った。
海を望む灯台コースでは帽子をとばされた思い出がある。

山が、来い来いと誘っている。杖があると楽。試しに身近な山へ登りませんか。

ショウジョウバカマ

ユキワリソウ

コシノカンアオイ

カタクリの群落

美術散歩

おもちゃ絵の世界
——見る・作る・遊ぶ・学ぶ——

公益財団法人　紙の博物館（東京都北区王子、飛鳥山公園内）
03－3916－2320

会期　開催中～5月29日（日）
開館　10:00～17:00（月曜休館、5/6（金）は休み）
入館料　大人300円、小・中・高校生100円

イベント
- 浮世絵手摺り実演会
  5月3日（祝）　13:30～16:00
- 講演会「おもちゃ絵の世界——遊べる浮世絵」
  5月15日（日）　13:30～15:00
  （要・申込）

その他
- 紙すき教室　毎週（土）（日）13:00～14:30　無料（入館料別）
- 和紙づくりを楽しもう　5/4（祝）、9/23（祝）、H24 1/9（祝）
  中学生以上対象　13:00～15:00　700円

特別展「写楽」

東京国立博物館　平成館（上野公園）
03－5777－8600

会期　5月1日（日）～6月12日（日）
開館　9:30～17:00　土・日・祝は18:00まで
料金　1500円、大学生1200円、高校生900円
中学生以下は無料

東洲斎写楽の作品を世界各国から集めた。約140点展覧。
東日本大震災により会期を変更。節電のため金曜の夜間開館は中止。
当初予定の作品展示がされない場合もある。

いいなこの本

編者　PHP研究所
編集協力　女子栄養大学
発行　2011年1月
価格　1200円＋税

「女子栄養大学の学生食堂」

まんぷくなのに太らない！

社員食堂や学生食堂の料理本がヒットしている。大学の学生食堂には、一般の人たちも気軽に利用出来る所もあり、昼食を楽しむ人たちで混み合っているそうだ。

毎日三食も考えてはなぁーため息、いやいや大きなため息。

本屋でブラブラして目についたのがこの一冊。作り方がシンプル、具だくさんの主菜、副菜。いつも作っているのと大差ないなあ…と思いながらも購入。

大概料理雑誌はパラパラめくってヒントを頂戴して終り。結果シンプルが一番おいしい、と思う私。

月のつぶやき

今年は真面目に毎月発行を、と心構えたものの、月日の流れの早さに頭が追い着かない。

次の休みこそ、などの思いは甘く、楽しい体力トレーニングに気持が傾きっぱなし。いつの間にか体力に自信がついて二十年振りの登山に芽生え、次はどこへとルンルン気分。

まだお散歩程度の山に登っただけなのに登山靴に山用ズボン、雨具を揃え直し、気合だけは充分だ。

登山に油断は禁物、と夫の注意事項に従い次への目標に胸をふくらましている。

東日本の被災者たちの現状を思うと弾むこころも半減するが、出来る応援をしつつ、元気に私の生活を送りたい。

一杯のお茶が、とてもおいしい。